

第4部 くだものの部

(1) りんごコンクール(シナノスイート) 《 審査日:平成25年10月21日 》

①審査所見

長野県で育成された「シナノスイート」は、栽培しやすく商品化率が高い品種であり、平成24年の栽培面積は626haと「ふじ」「つがる」に次ぐ基幹品種となっています。また、食味が良好で、消費者の評価も高く、日本農業新聞の「果実売れ筋ランキング」では、2008～2010年では連続1位、2011～2012年では2位、2013年は3位と常にトップクラスに入っています。このコンクールは、県内での産地育成と栽培技術及び品質の向上を図ることを目的に、平成15年から実施されており、本年は55点の出品がありました。

審査は、審査基準に基づき色沢、玉揃い、形状、糖度、軽欠点果等を審査し、糖度測定には簡易型の光センサーを活用し、食味にも配慮した審査とするなど厳正かつ公正に行いました。

本年は4月の凍霜害、各地での降雹、そして9～10月の台風の襲来など気象災害に翻弄された一年でした。特に4月21日の降雪、翌日の22日の厳しい低温により、りんごでは中南信地域を中心に胚珠が褐変するなど大きな被害が発生しました。

このような条件下にもかかわらず出品物は、日頃の丹精込めた管理が推察され、生産者の栽培技術を競うコンクールにふさわしい果実でありました。

出品財の平均糖度は、収穫直前の天候不順などにより13.9%と昨年と比べやや低い値でしたが、上位入賞品は、糖度は高く、特に着色は素晴らしく仕上がっており、葉摘みや玉回しなどの管理も行き届いていました。果形や玉揃も良好で、軽欠点もなく、選果・出品技術の高さもうかがえました。入賞を逃した出品財も遜色ないものが多く、その差は果実の大きさのばらつき、果形不良、着色の不揃い、押し傷、葉や枝かげなど極些細な欠点によるものでした。全体としては、栽培面積の増加にともない栽培技術も着実に向上していると感じましたが、入賞に向けては一層きめ細かな管理・選果をお願いします。

出品者の皆様には、県オリジナル品種の栽培に積極的に取り組まれ、気象災害などがあつた中で、栽培技術の粋を尽くした果実を多数出品いただいたことに感謝申し上げます。また、受賞されました皆様にお祝いを申し上げますとともに、今後とも各地域での生産振興に先導的にご尽力いただきますようお願い申し上げます、審査所見といたします。

②入賞者名簿

賞 の 名 称	氏 名	市 町 村 名
農林水産省生産局長賞	湯本将平	山ノ内町
長野県知事賞	小林和幸	山ノ内町
長野県園芸作物生産振興協議会長賞	遠藤喜郎	松川村
	湯本幸男	高山村
長野県園芸特産振興展推進協議会長賞	田中孝二	東御市
全国農業協同組合連合会長野県本部長賞	清水 裕	上田市
一般財団法人 長野県果樹研究会長賞	小澤 守	安曇野市
	関原勝芳	高山村

(2) りんごコンクール(シナノゴールド) 《 審査日:平成25年10月29日 》

①審査所見

「シナノゴールド」の栽培技術及び品質の向上を目的とした本コンクールも、今年で10回目を迎えました。年々品質の向上が実感されており、関係各位には本品種の振興に多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年は県下各地から47点の出品がありました。審査員を代表し、審査の所見を申し上げます。

審査は、審査基準に基づき色沢、玉揃い、形状、糖度、軽欠点果等を審査し、糖度測定には簡易型の光センサーを活用し、食味にも配慮した審査とするなど厳正かつ公正に行いました。

本年は4月21～22日の降雪・低温、各地での降雹、そして9～10月の台風の襲来など気象災害に翻弄された一年でした。特に4月22日の低温により、中南信地域を中心に大きな凍霜害が発生しました。

このような条件下にもかかわらず、出品物は日頃の丹精込めた管理が推察され、生産者の栽培技術を競うコンクールにふさわしい果実でありました。

果実の平均糖度は、13.8%であり、前年と比べるとやや低い傾向でした。色沢は、着色期の天候不順の影響か、やや黄色の着色が薄いものが多いと感じました。しかし、上位入賞されたものは黄色に仕上がっており大変素晴らしいもので、玉揃いや形状も良好でした。惜しくも入賞を逃した出品財は、着色の不足、斜形果などの形状の乱れ、押し傷や裂果などの軽欠点果が混入していました。「シナノゴールド」は黄色の品種であるために、押し傷などが目立ちやすい傾向ですので、より丁寧な取り扱いをお願いします。

「シナノゴールド」は、食味や貯蔵性など優れている点が多く非常に魅力的な品種ですが、高品質生産向けには、適期収穫の徹底、裂果発生の軽減、病害防除の徹底等いくつか課題はあります。これらを克服して、おいしい「シナノゴールド」を消費者にお届けすることが、長野県のりんご産地維持並びに生産者の経営向上には必要なことと存じます。

さらなる「シナノゴールド」の商品力向上が図られますよう、関係各位の御協力をお願いするとともに、りんご産業の益々の振興をご祈念申し上げ、審査所見といたします。

②入賞者名簿

賞 の 名 称	氏 名	市 町 村 名
農林水産大臣賞	平林達彦	松川村
長野県知事賞	古畠正隆	長野市
長野県園芸作物生産振興協議会長賞	荻原英樹	立科町
	吉岡伸雄	長野市
長野県園芸特産振興展推進協議会長賞	清水 裕	上田市
全国農業協同組合連合会長野県本部長賞	二木武志	安曇野市
一般財団法人 長野県果樹研究会会長賞	滝澤尚武	長野市
	米沢佳子	須坂市

(3) ぶどうコンクール(ナガノパープル・シャインマスカット) 《 審査日:平成25年9月19日 》

①審査所見

46回目を迎えた本コンクールは、種なしで皮ごと食べられる品種を更に推進するため、「ナガノパープル」と「シャインマスカット」を対象に行いました。今回は本県オリジナル品種である「ナガノパープル」の収穫時期に合わせ開催しました。

本年は、ぶどうの幼果期から果粒肥大期にあたる7月上中旬の乾燥で肥大がやや劣り、8月下旬以降に豪雨が何回かあった影響で糖度もやや伸び悩みました。

このような状況の中、今年のコンクールの出品点数は「ナガノパープル」35点、「シャインマスカット」41点の計76点であり、優れたぶどうが多数出点されましたことは、生産者及び関係機関のたゆまぬ努力の成果であると存じます。

「ナガノパープル」につきましては、全体に着色が良好であり、果てい部に赤みが残る房は少なめでした。房形も年々向上しており、全体に手のひらサイズの大きさをゆめのにぎり房に仕上がっていたことは、関係機関をあげて技術定着を図ってきた成果だと感じます。しかし、もぐり混んだ果粒のある房、上部が開いて果柄が見える房が散見されましたので、一層の花穂整形と摘粒の技術向上をお願いします。糖度、食味、果粒肥大は良好でした。裂果は果てい部、果頂部に一部見られましたが、8月下旬以降の降雨の中では最小限に留まりました。ブルームは一部に溶脱が目立つものもありましたが、全体にはきれいでした。

「シャインマスカット」につきましては、7月上中旬の乾燥で小粒傾向の中、出品財はいずれも果粒肥大が良好で、肥培管理技術の高さが伺えました。反面、コンクール開催時期がやや早く、全体に糖度や食味や着色が向上する直前に収穫したものが多く印象で、特に目標果粒重を超える肥大をしているものや緑色が濃いものは糖度が低めでした。着色は過剰に黄色となっているものは一部でしたが、出品財ごとでも箱内でもばらつきが目立ちましたので、今後も統一した色調で良食味に仕上げることを目標に技術向上をお願いします。脱粒が房形不良のものにあった他は、果面のサビやシミ症などの障害は目立ちませんでした。

審査の結果、上位入賞されたものは、房形、着色、果粒肥大、食味などが総合的に優れており、模範となるぶどうに仕上がっていました。

ぶどう産業は品種構成が大きく変わる時期にあり、産地間競争の激化も見られています。本県として統一的な品質向上が図られるよう関係各位のご協力を賜りますことをお願いするとともに、各産地がますます発展されることをご祈念申し上げ、審査所見といたします。

②入賞者名簿

ナガノパープルの部

賞 の 名 称	氏 名	市 町 村 名
長野県知事賞	高田洋一	須坂市
長野県園芸作物生産振興協議会長賞	塩原 剛	塩尻市
	竹内智里	小布施町
長野県園芸特産振興展推進協議会長賞	塩野崎敬昇基	小布施町
全国農業協同組合連合会長野県本部長賞	中村 修	須坂市
	宮澤正一	小布施町
一般財団法人 長野県果樹研究会長賞	吉池浩幸	須坂市

シャインマスカットの部

賞 の 名 称	氏 名	市 町 村 名
長野県園芸作物生産振興協議会長賞	飯塚芳幸	上田市
長野県園芸特産振興展推進協議会長賞	鈴木浩哉	生坂村
	斉藤 敏	須坂市
全国農業協同組合連合会長野県本部長賞	浅沼隆之	中野市
一般財団法人 長野県果樹研究会長賞	荒井 昇	小布施町
	西澤敏幸	須坂市